

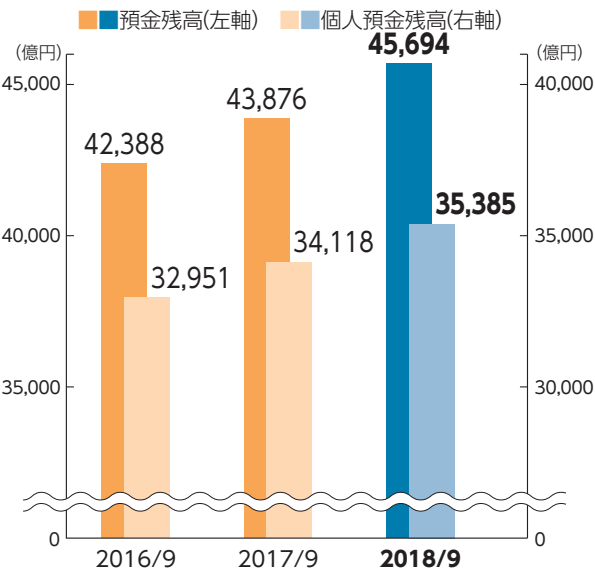
業績ハイライト

2018年9月期の業績につきましては、預金および貸出金の残高は順調に増加しました。
また、収益面では、経常利益は前年同期比14億3百万円減少し、77億50百万円、中間純利益は前年同期比9億26百万円減少し、53億61百万円となりました。

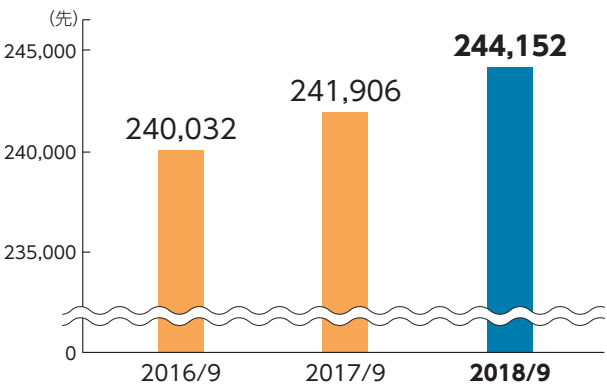
■預金残高・個人預金残高

4兆5,694億円
(年間増加率4.1%)

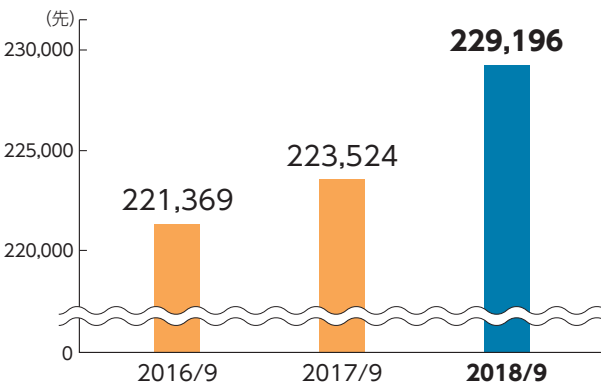
給与振込や年金振込の取引拡大等により預金残高は、前年同期比1,818億円増加し、4兆5,694億円(年間増加率4.1%)となり、個人預金残高は前年同期比1,267億円増加し、3兆5,385億円(年間増加率3.7%)となりました。



■給与振込指定先数



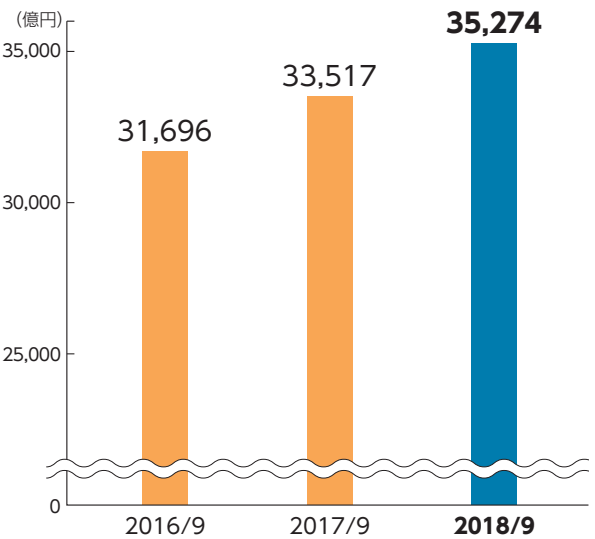
■年金受取指定先数



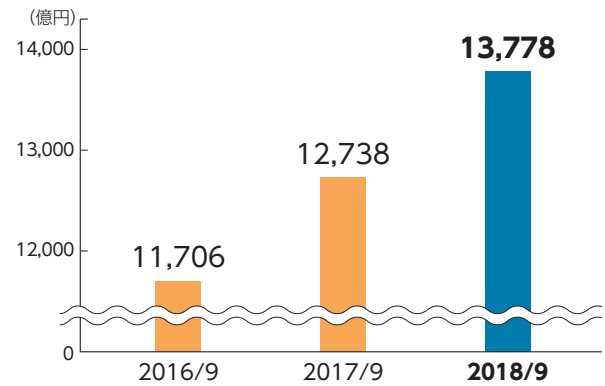
■貸出金残高

3兆5,274億円
(年間増加率5.2%)

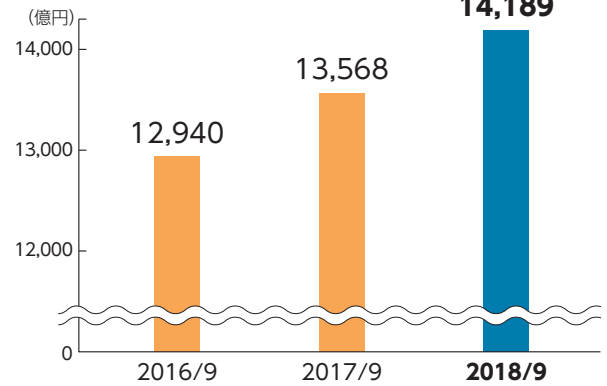
中小企業向けや、住宅ローンを中心とする個人向けの貸出推進に積極的に取り組んだ結果、前年同期比1,757億円増加し、3兆5,274億円(年間増加率5.2%)となりました。



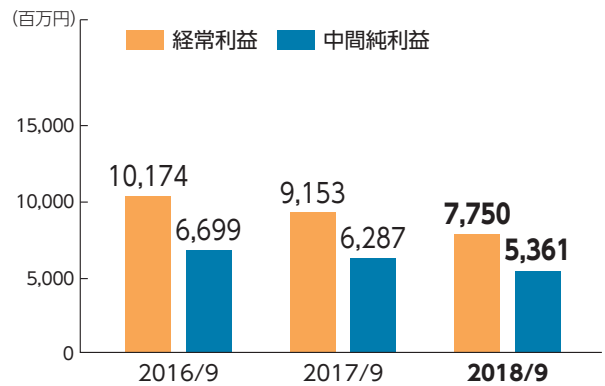
■中小企業向け貸出金残高



■住宅ローン残高



■経常利益・中間純利益



■不良債権比率(金融再生法基準)

